



恐竜のまちづくり最前線

パート 1

穂別稲里
恐竜特集



小林准教授によるセミナー開催

まちのうごき

1月18日に魅力あるまちづくりセミナーとして「恐竜化石を活かしたまちづくり」をテーマに、北海道大学総合博物館の小林准教授による講演会が産業会館で約70名の参加により開催されました。小林准教授からは、これほど全身骨格に近い発見は国内でも大変貴重で、国の宝になりうる大発見であることを熱く語ってくれました。また、他の地域のまちづくり事例を交えたわかりやすい説明があり、参加者も熱心に聞き入り積極的な意見交換もありました。セミナーの詳細につきましては次号のパート2でご紹介させていただきます。

地域協議会のうごき

まちづくりを進めるための協議・検討を行う地域協議会で、恐竜化石を活かしたまちづくりに関する協議が行われました。平成25年12月から活動している「恐竜化石を活かしたまちづくり研究会」(職員有志によるボランティア活動)の活動報告を受け、「もっと化石の素晴らしさを住民にPRする必要がある」「化石以外にも色々な資源があるので活用すべき」という意見がありました。

博物館のうごき

昨年と一昨年の発掘調査で掘り出された岩石(ノジュール)について、現在クリーニング作業が急ピッチで進められております。岩石に細かい骨が入っていると、サッカーボールくらいの大きさでも3~4ヶ月の作業期間がかかり、現在までで回収されているノジュールの1割程度しかクリーニングは終わっていない状況です。全身骨格の展示は早くても4~5年かかると予想されますが、作業員の増員やボランティアの協力で少しでも早く展示できるように頑張っております。



化石のクリーニングを行う下山学芸補助員

人 の 動 き

平成26年12月31日現在

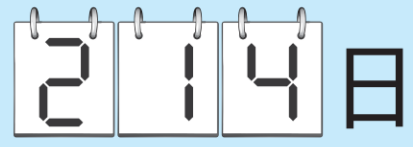
※()は前月比。住基法の改正により、外国人数を含みます。

- ▶ 人口 **8,996人(-46)**
- ▶ 男性 4,430人(-14)
- ▶ 女性 4,566人(-32)
- ▶ 鶴川地区 6,070人(-44)
- ▶ 穂別地区 2,926人(-2)
- ▶ 世帯 **4,432世帯(-43)**

平成26年12月1日~31日
出生 6人 死亡 10人
転入 11人 転出 53人

交通死亡事故ゼロ日数

平成26年12月31日現在



吹雪等の視界不良による交通事故が発生しています。事前に気象・道路情報を収集し、ゆとりある運転計画をたてましょう。

